

水稻病害虫発生調査結果

第1号 <7月14日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

(6カ所調査 7月11日調査、昨年は7月11日調査)

	ヒメビ ウンカ (頭)	セジロ ウンカ (頭)	トビロ ウンカ (頭)	ヨコバイ 類 (頭)	カムシ 類 (頭)	縞葉枯 病 (%)	紋枯 病 (%)	いもち 病 (%)
令和5年	0.01	0.0	0.0	0.0	0.03	0.0	0.0	0.6
昨年	0.12	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ウンカ類、ヨコバイ類は、株当たり虫数、カムシ類は10回すくいどり虫数、縞葉枯病・紋枯病・いもち病は発生株率(%)

- ・いもち病：発生の頻度は少ないです。縞葉枯病：発生は見られませんでした。
- ・紋枯病、トビイロウンカ：発生は見られませんでした。
- ・ヒメトビウンカ、セジロウンカ、ヨコバイ類、カメムシ類：発生量は少ないです。

【近畿地方方向こう1か月(7月8日~8月7日)の天候の見通し】(大阪管区气象台発表)

期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率70%です。2週目は高い確率60%です。

2 病害虫防除のポイント等

いまのところ特に目立った病害虫の発生は見られませんが、今後の天候により病害虫が多発することもあります。

稲株が茂る時期(8月中旬以降)になりますと、薬剤が下位葉まで届き難くなりますので、水稻栽培暦に基づき、基幹防除を適期に行ってください。

また、ジャンボタニシ(スクミリンゴカイ)の多発しているほ場が見られます。取水によって水路から水田に侵入します。卵はピンク色(ふ化直前は黒赤色になる)で、水稻の茎や水路の壁等に産卵するのでよく目立ちます。



水稻生育期間中は、以下の対策があります。

① 殺卵、貝の捕殺

- ・貝、卵塊を見つけ次第捕殺します。
- ・卵塊は水中で呼吸できないため水を張ったバケツなどに落とすだけで殺卵できます。

② 網の設置

- ・取水口に目合い1cmの網を設置し、用水路からの貝の流入を防止する。

農薬等は JA 兵庫西の 2023 年度水稻栽培暦を参考にして下さい